



学校通信

第三小学校だより

令和2年度 第21号

喜多方市立第三小学校 令和2年9月16日(水)

文責 校長 笠原 聡

民報号出前講座を行いました



9月14日(月)の3～4校時に、5年生が福島民報社の「民報号出前講座」を実施しました。福島民報社地域交流局編集委員の坪井法彦様を講師にお迎えして、DVDを視聴しながら新聞記者の仕事の内容や新聞の製作行程についての説明を聞いたり、記事の書き方や紙面の構成の仕方についてのお話を聞いたりしました。

特に、新聞記事は、初めに結論を書くなど、大切なことから順に書いているという説明があり、それは、これから感想文や作文を書く際にとっても参考になるお話でした。

また、最後に新聞記事の見出しをつける実習を行いました。子どもたちは、それぞれに感性を生かし、豊かな表現で見出しを考えていました。「見出しは、究極の要約」と言われています。子どもたちの見出しを見て、文章を要約する力の高さを感じました。

今回の講座は、国語や社会科など授業にとっても役に立つ内容でしたので、今後の学習に役立てていきたいと思います。また、子どもたちには、新聞を読むことに興味をもってくれればと思います。

新型コロナウイルス感染症への対応



9月14日(月)に、全校朝の会を行いました。その中の校長講話で、「新型コロナウイルス感染症の対応」について、以下のように話をしました。

もうニュースなどで知っている人が多いと思います。残念なことに、「新型コロナウイルス」に感染したという人がこの喜多方市でも増えてきています。

このようなときに、自分たちがしなければいけないことは何でしょうか。

そう、自分が病気にかからないように努力をすることです。

三小では、「か・か・し・う・け・て・ま・す」ということをしっかり行うようにしています。特に、消毒、うがい、検温、手洗い、マスクの着用はしっかり行いましょう。

今やるべきことは、病気にかからないようにすることで、「新型コロナウイルス」に感染した人を探したり、病気になった人やその家族の人の悪口を言ったり、仲間はずれにしたり、いじめたりすることではありません。この病気は、インフルエンザと同じように、だれがかかってもおかしくない病気です。今は自分が、病気にかからないようにすることだけを考えて、「か・か・し・う・け・て・ま・す」をしっかりと行っていきましょう。

学校では、これからも感染予防の徹底を図りとともに、感染した方やその家族、医療従事者の方などへの誹謗中傷などをしないよう指導をしていきます。

ご家庭でも、予防対策をしっかりと行っていただくとともに、心無い噂などで、子どもたちはもとより、市民の方お一人お一人が心を痛めることのないように、思いやりの心をもって生活していただければと思います。

かかしくけてます

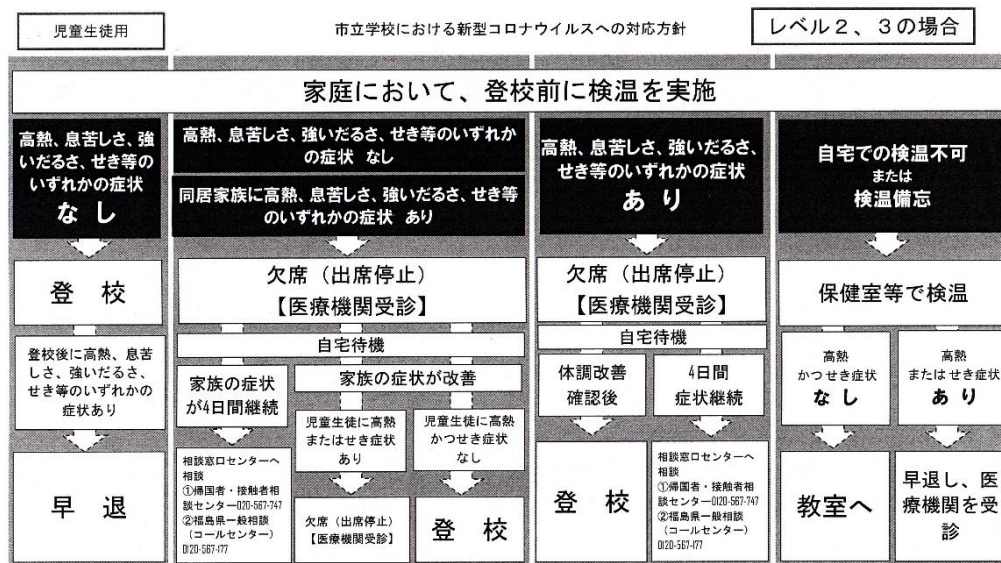
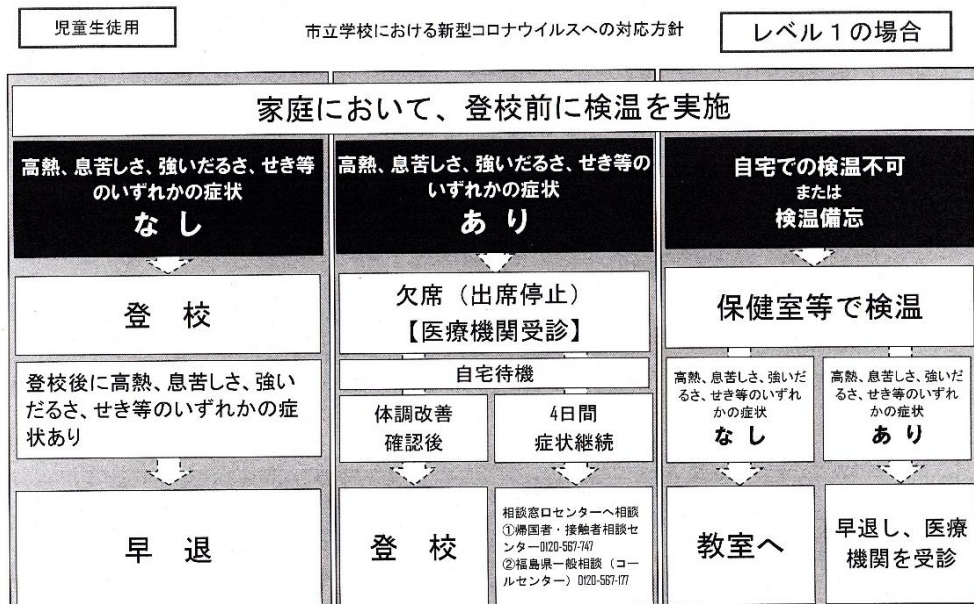
「新型コロナウイルス」から
命と健康を守る合い言葉

かんき	(換気)
かんかく	(間隔)
しょうどく	(消毒)
うがい	(うがい)
けんおん	(検温)
てあらい	(手洗い)
ますく	(マスク)
すていほーむ	(ステイホーム)

出席停止措置の変更について

この度、市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症に係る出席停止措置の基準について、児童生徒または児童生徒の家族が濃厚接触者となった場合、児童生徒は「出席停止」と変更になりました。なお、対応方針については、以下のとおりですので、お知らせします。

※本市は、現在、「レベル1」と判断されています。



4連休 健康と安全に気をつけた生活を

19日（土）から22日（火）まで、4連休となります。連休後も、いろいろな行事が控えていますので、健康に注意するとともに、けがのないように生活してほしいと思います。特に、観光客が多くなり、交通量も増えることが考えられます。交通事故には十分注意が必要です。自転車の乗り方や道路を横断するときは左右を確認することなどに気をつけるよう、ご家庭でもお話しください。

日々の活動の様子などを、ホームページでお知らせしています。どうぞご覧ください。
ホームページアドレス <https://kitakata.fcs.ed.jp/> 第三小学校
（「喜多方市ポータルサイト」でも検索可）